



# 北理研だより

＜165号 平成25年(2013年)9月17日 発行＞

## 平成25年度北理研札幌支部秋季研究大会(フシ全国大会) 第1日【円山小会場】開催間近!

文部科学省教科調査官 村山 哲哉氏がご来校されます!

### 円山小学校の学校課題

## 「目標達成」～自然への挑戦～

子どもの挑戦意欲を目標に直結させ、問題解決に熱中する  
子どもの姿を引き出し、生命力あふれる追究を展開します

#### 授業者

#### 授業協力者 (〇はチーフ)

3年「風やゴムで動かそう」 越野 宗丈 〇幡宮 嗣朗 江渡 好恵 村田 秀一

子どもたちは、帆かけ車を動かす活動の中で、働きかけの力を変えると車の動きも変わることを経験し、風に対する見方や考え方を深めます。ゴム車を動かす活動では、ゴムを引いて動かすことで、帆かけ車よりも遠くに動かすことができたという経験をもとに、「もっと遠くに動かしたい」「もっとゴムを伸ばしたい」という願いの実現に向け、ゴムの働きと真剣に向き合い、追究活動に取り組みます。

5年「ふりこ」

青柳 大介 〇和田 諭 西木 里奈 坂下 哲哉

子どもたちは、ものへの関わりが大きいほど変化の表れが大きくなるという素朴概念をもっています。その素朴概念をもとに、ふりこに出会った子どもは、10往復10秒のふりこを作るという目標の達成に向けた活動の中で、おもりの重さ、振れ幅、ふりこの長さに、ふりこの動きを変える可能性を見いだします。これらの要素を意識しながら目標の達成に向け、これまでの経験を生かしながらふりこに関わり続けます。

## 第1日円山小会場 9月27日(金) 13:40～

- ・詳しい時程については、2次案内をご覧ください。
- ・当日、資料代(1,000円)をいただきますが、いずれかの会場でお支払いいただいた方は3会場(円山小・中央小・二条小)すべてに参加可能です。
- ・参加申し込み並びに反省会申し込みはまだ間に合います! 申込先 岡 亨(澄川西小)  
2次案内の単票を庁内メールもしくはFAXにて、また、過日配信されましたメーリングリストにてお願いします! 【9/17まで】【反省会】9/27(19:00～)甘太郎 すずきのアーバン店

〈事務局〉

北海道小学校理科研究会事務局長 村上 力 成 (南の沢小学校長)

〒005-0823 札幌市南区南沢3条2丁目18-1 TEL.571-1096 FAX.571-2769

e-mail [rikinari.murakami@city.sapporo.jp](mailto:rikinari.murakami@city.sapporo.jp)

(担当) 札幌支部広報部長 三浦 貴 広 (もみじの森小学校)

# 円山小学校授業交流会の様子から〈7月1日（月）〉

## 3年 理科「光とかがみ」

授業者 越野 宗丈

グラウンドでの活動でした。子どもは目的意識をもって事象と向き合い、鏡を使って繰り返し事象に関わることができました。

話合いの場面では、活動をもとにして気付いたことを、自分の言葉で表現し、のびのびと伝え合う姿が見られました。



### 部会の話合い

子どもの様子をもとに、教材と授業会場について検討しました。車を手にしたときに、どのように事象と関わり、どのように働きかけていくかを、この日の子どもの姿から話し合うことができました。

また、単元構成については、第1次の風と第2次のゴムのつながりが課題となりました。

## 5年 理科「花から実へ」

授業者 青柳 大介

キュウリとズッキーニの花をそれぞれ観察し、雄花や雌花があることを見いだす場面の公開でした。

子どもの「～さんと一緒に」「つながります」といった発言が光りました。大会当日に向けて、子どもが明確な課題をもち、主体的に活動に向かう姿を目指し、授業構築を行ってまいります。



### 部会の話合い

子どもがふりこ真剣に向き合う展開について、部会の主張、単元構成について話合いました。

「10往復10秒のふりこを作ろう」という目標に向かう中で、条件によって10秒にどのぐらいまで迫れているのかを子どもが判断する本時の構想について、授業者と共通理解を図りました。

本交流会を通し、挑戦意欲を喚起する子どもの目標は、主体的な追究を生み出す手立てとなることが明確になりました。秋季研究大会当日に向けて、明らかになった成果と課題を検討し、授業づくりに生かしていきます。円山小学校の皆様、ご多用のところ貴重なお時間をいただき、本当にありがとうございました。